

要件への適合確認書（長寿命型 様式6(三世代)）記入例

採択された共通ルール（具体的取組内容）は必須条件です。
 具体的取組み内容は全て記入し、対象住宅がこれらの内容に適合していることを確認してください。

<長寿命型 様式6(三世代)>

1戸の対象住宅につき1枚のシートを作成してください。2戸以上の対象住宅について申請する場合はシートを追加して作成してください。

要件への適合確認書(交付)【補助金申請者記入用】

・対象住宅の建築主

建築主氏名	◆田 ■郎、◆田 ●子
-------	-------------

↑ 姓と名の間は文字を空けて記入してください。複数の場合は「、」で区切ってください。
 売買契約による住宅の場合は「売買」と記入してください。

・採択された要件の確認(1)～【地域材】

使用する(予定の)地域材	記入不要
--------------	------

※採択された地域材のうち、対象住宅で使用する(予定の)地域材を記入してください。

↑ 適用申請書 様式2-1のA欄に記載の地域材の名称、産地、認証制度等の名称のうち使用する(予定のもの)を記入してください。 ※行が足りない場合は、この様式を複数枚作成してください。

・採択された要件の確認(2)～【グループの共通ルール】

	共通ルール
①地域材利用に関する共通ルール(必須) ②地域材利用の1棟当たりの割合(必須) ③標準的な地域材の使用部位(必須)	記入不要

適用申請書 様式3-3の「4.地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み」欄に記載の共通ルールを記入してください。

・グループ事務局の確認

今回、補助金交付申請を行う対象建築物について、採択要件(共通ルール)に適合していることを確認いたしました。

グループ事務局担当者名	確認欄	申請事業者代表者名	確認欄
優良 二郎	○	長持 住夫	○

対象住宅について、共通ルールが適合していることを確認した場合は確認欄に「○」を記入して下さい。

・三世代同居対応住宅の要件の確認

調理室	浴室	便所	玄関
1	1	3	2

対象住宅に設置する個数を記入して下さい。↑

三世代同居対応住宅の要件については、上記の通りであることを証明します。

資格 (1級) 建築士 (建設大臣) 登録 第 999999 号 氏名 ▲岡 ●郎 ▲印

・対象住宅の要件の確認～【住宅の省エネルギー技術に関する講習】

対象住宅に関わる講習会の修了(予定)者の区分 (次のいずれかに「○」)

○ (1) 対象住宅の施工者	(2) 対象住宅の設計者	(3) 対象住宅の工事監理者
----------------	--------------	----------------

※1 同等の講習会かどうか不明な場合はお問合せください。

(注) この用紙の大きさは、日本工業規格A4とすること。

【H28】長寿命型 要件への適合確認書(交付)(三世代)

適用申請書様式2-1 A欄に記載した地域材の名称、産地を正確に記入してください。

【様式3】に記載した認証制度等の名称と同じであるか確認してください。

適用申請書様式3-3の「具体的取組内容」欄と同じように記入してください。記入箇所違い、誤記、具体的取組内容以外の記載等、の間違えが多いので注意してください。

対象住宅について、共通ルールが適合していることを確認した場合は確認者と確認欄に「○」を記入してください。

三世代同居対応住宅の対象とする設備等の各設置個数を記入して下さい。

三世代同居対応住宅の要件の確認を行った建築士の資格情報等の記入、捺印をして下さい。

省エネ講習会の修了者、または修了予定者が対象住宅に関わる区分に○を付けてください。区分が決まっていない場合は、関わる予定の区分に○を付けてください。

ここに○を必ず記入して下さい。施工者の参加は必須です。

使用する様式は正しいですか。
 【H28】長寿命型と記載されている様式を使用してください。